

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/02/20号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

米利上げ長期化への懸念が上値圧迫

NY原油先物相場は、1バレル=80.62ドルまで値上がりした後、76ドル台中盤まで反落する展開になった。週前半はロシアが3月に日量50万バレルの自主減産表明したこと、中国の需要回復から需給ひっ迫化が警戒され、改めて80ドル台に乗せた。しかし、その後は米国を筆頭に各国でインフレ抑制のための利上げ強化の議論が活発化していることが嫌気され、早めに調整売り優勢の展開になった。利上げの長期化による景気減速、ドル高のリスクが上値を圧迫した。米原油在庫の急増もネガティブ材料視された。結果的に最近のボックス相場を踏襲する展開が続いている。

米国ではディスインフレの進展に不透明感が強まり、従来想定されていたよりも強力な利上げ対応が必要との見方が強くなっている。従来だと5月にも利上げ終了が予想されていたが、6月もしくは7月まで利上げが続く可能性が高まっている。これは、景気減速リスクを高めると同時に、為替市場でドル高を促すことになり、原油相場の上値を圧迫した。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (2月10日時点) は、原油が前週比1,628万バレル増、ガソリンが232万バレル増、石油精製品が129万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

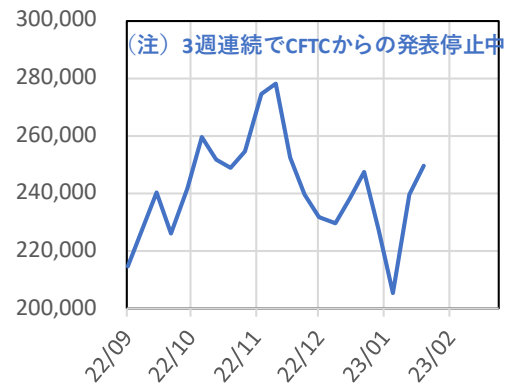
ボックス傾向が強まる、在庫統計には要注意

70ドル台前半で底固さ、80ドル台前半で上値の重さを再確認する展開が続いている。国際エネルギー機関（IEA）は今年上期が供給過剰になる一方、下期に需要回復とロシア産の供給制約で急速に供給不足になる可能性を指摘している。需給緩和のピークは脱したとの見方が下値を支えるが、必ずしもタイト化していない需給が上値を圧迫する展開が続き易い。ボックス内での短期的な値動きが続く見通し。

米原油在庫は8週連続で増加している。今後は春の製油所メンテナンスも本格化するが、更に在庫の積み増しが進むと上値を圧迫され易くなる。また、前週は米利上げ長期化観測に上値を抑えられたが、22日に米連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨（1月31日～2月1日開催分）、24日に1月PCEデフレーターと重要イベントが集中する。ここで利上げ長期化懸念の織り込みが追認され、米金利上昇・ドル高・株安が進むと、原油相場の上値も圧迫され易くなる。

一方、前週は石油輸出国機構とIEAがともに2023年の世界石油需要見通しを前月から日量10万バレル引き上げている。中国などの需要回復期待が織り込まれると、早めに押し目買いが膨らもう。また、サウジアラビアのアブドルアジズ・エネルギー相は、OPECプラスが年内に生産調整を行わない見通しを示している。ロシアが3月に実際に日量50万バレルの減産を行うのかは不透明感もあるが、供給サイドのリスクが意識されると、需給ひっ迫見通しの織り込みから改めて地合を引き締めよう。2月24日でロシアがウクライナ侵攻を開始してから1年目を迎える。戦闘激化など地政学リスク織り込みの動きにも注意が必要。

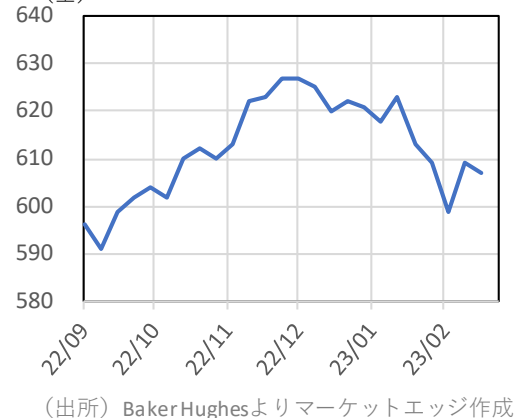
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

